

お口の健康

第37回 根面う蝕

高齢者に良く見られるタイプの虫歯があります。それは歯根部や、歯と歯ぐきの境目にできる虫歯で、『根面う蝕』と言います。この根面う蝕は、進行するのがとても早く、突然根元から歯が折れてしまうこともしばしば見受けられます。このようなことは歯磨きが十分でない高齢者程よく見られるものです。

年をとってくると歯ぐきが下がり歯根部分が露出してきます。この歯根部分はエナメル質で覆われていないため柔らかく、虫歯になりやすいのです。ですから歯磨きが不十分で、磨き残しがある状態が続くと、根面う蝕が発生します。特に要介護状態になり、自分自信での歯磨きが困難になってくると、根面う蝕が急激に進行する傾向があります。

さらに高齢者では降圧剤、利尿剤など唾液の分泌減少を起こしうる薬剤を服用していることが多く、それによる様々な口腔の防御機能の低下が問題となってきます。例えば初期虫歯であれば唾液による再石灰化が期待できません。また唾液には抗菌作用もあり虫歯菌の活動を押さえられることもできます。さらに虫歯菌が作る酸を中和する能力もあります。そのため唾液腺の開口部付近には根面う蝕が出来にくいと言われています。ところが、老化や薬剤の影響によって唾液の分泌量が低下してくると、歯周病などと同じく根面う蝕のリスクが高まってくるのです。



根面う蝕の一番の予防法は、プラークコントロールによる歯垢除去です。歯根表面の歯垢は虫歯菌の塊です。また歯ぐきが退縮した歯間部（歯と歯が隣あっている部分）には歯垢が大量に付着し根面う蝕の好発部位となります。そのため歯垢を落とすには歯ブラシだけでなく歯間ブラシの併用が効果的です。

根面う蝕は高齢者、特に自分では十分なプラークコントロールができなくなった方にとって、歯を急激に失わせ咀嚼機能を低下させる原因の一つです。これを防ぐためには普段の口腔ケアと定期的な歯科医院でのチェックが重要です。

湯沢市・雄勝郡
歯科医師会

ホームページ：
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>



歯ぐきが退縮して歯根部が露出すると虫歯ができてやすくなります